

契 約 変 更 理 由 書

神 戸 市

工 事 名	西(富士見が丘)配水管取替工事その1
<p>契約変更後の概要</p> <p>工事概要：管布設：Φ50PE-444.9m、Φ75PE-6.6m、Φ75-420.0m、Φ100-16.7m、 Φ150-466.7m、Φ200-1.8m 管撤去：Φ75-70.2m、Φ100-890.5m、Φ150-3.5m、Φ200-411.5m</p>	
<p>契約変更の理由</p> <p>① 材料について 現地状況に合わせて配管したところ、配水管属具(消火栓・仕切弁)や曲げ配管、配管ルートの変更が必要となり、数量に変更が生じる。(増)</p> <p>② 管布設工、管工について 試掘したところ、雨水幹線の一部の擁壁で空積みであることが判明し、下水道管理者と協議した結果、下越しせず配管ルートを変更することとなったため、数量に変化が生じる。(増) また、現地状況に合わせて配管したところ、数量に変化が生じる。(減)</p> <p>③ 仮配水管工について 水運用を再検討した結果、仮配水管及び仮給水管の追加が生じる。(増)</p> <p>④ 給水付替工について 給水管理図と現地の給水管位置に違いがあり、給水管の調査に伴う掘削が生じたため、給水の掘削延長が変更となる。(増)</p> <p>⑤ 付帯工について 配管ルートの変更により階段部に配管したため、階段部、土間部、手すりの取り壊し・復旧が必要となる。(増)</p> <p>⑥ 舗装復旧工の変更について 舗装の復旧範囲について道路管理者と協議した結果、現地状況にあわせて復旧する必要があったため、2号工の追加及び復旧範囲が変更となる。(増)</p> <p>⑦ 交通誘導警備員について 警察及び地元住民等との協議により、日配置人数の変更が生じる(増) また、雨水幹線下越し部において、既設管の埋設深が深く、当日に埋戻しが不可能であったため、掘置きにて施工を行い、夜間及び24Hの配置の必要が生じる。(増)</p>	